

交通事故の怖さを伝えよう



目的:

今までのダミー人形を使用した交通安全教室の実験では、車が人形に衝突しても倒れ方が不自然で、印象に残りづらい。したがって衝突したダミー人形が自然に飛ぶような土台を設計する。

今までの土台

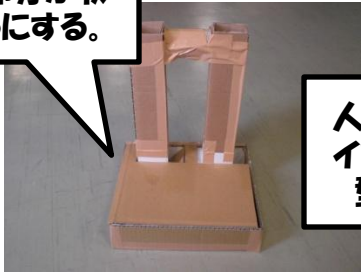


問題点

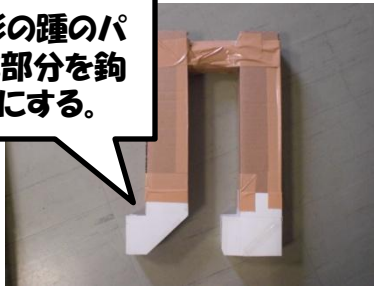
- ・人形が吹き飛ばずに引きずられる。
- ・人形と土台が上手く離れない。
- ・ダミー人形のバランスが悪い。

解決案

土台に穴をあけ、
鉤型の部分が収まるようにする。



人形の踵のパイプ部分を鉤型にする。



穴に傾斜を付けて踵が外れやすくする。



実験風景



まとめ

メリット : 箱型なので安定感が増す。
土台の傾斜によって人形が良く飛ぶ。

デメリット : 木材なので壊れやすい。

この案によって

交通事故に対する危機回避能力の向上が期待できる!

金沢工業大学
2008年度 工学設計II

プロジェクトテーマ : 小・中学校における効果的な体験型交通安全教室の実施について

クラス番号 : VE301

チーム番号 : 3

チーム名 : GHOST

チームメンバー名 : 川端 公・衣本 歩

黒岩 大地・杉原 康高

谷口 真平・長谷川 晴泰

担当教員名 : 竹俣 一也